

**地域提案型**

**平成18年度 採択内定案件**

<b>I. 提案事業の概要</b>	
1. 国名	中華人民共和国
2. 事業名	資源循環社会における中国の都市環境整備システムの構築
3. 事業の背景と必要性	<p>中国では著しい経済成長に伴って都市廃棄物の適正な処理が大きな課題となっており、都市環境の悪化防止のためには、都市環境整備システムを構築するとともに、資源循環社会の構築を目指すことが緊急の課題となっている。家電の有効な回収と資源の再利用については、その重要性が徐々に認識されており、家電リサイクル関連法案が策定されたり、家電リサイクル施設を試験的につくったりする動きが全国的に始まりつつあるが、法律・管理両面において合理的な回収と再利用技術について経験がない状況である。</p> <p>このような状況の中で、中国の家電リサイクル処理への取り組みを後押しするために、家電の生産、輸出入および消費が中国で最も多く、全国的な需要に影響を持つ地位にある広東省で家電リサイクルのモデルケースをつくることとなった。</p>
4. 事業の目的	広東省において、家電リサイクルの政策を遂行できる行政官とリサイクルを実施できる人材を育成するとともに、地域住民が家電廃棄を学び、家電リサイクルシステムの基礎を構築する。
5. 対象地域	広東省
6. 受益者層	広東省行政官、地域住民
7. 活動及び期待される成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 広東省に家電リサイクルの理念・知識・技術を理解した100名の人材を育成する。</li> <li>2. 生産力促進センターを含む広東省幹部行政官が日本の家電リサイクルと都市廃棄物処理・リサイクルの実態を理解する。</li> <li>3. 広東省における家電リサイクル実施にかかる課題を解決するためのアクションプランを作成し、家電リサイクル実施のための長期計画を立案する。</li> </ol>
8. 実施期間	平成19年6月から平成21年2月
9. 事業の実施体制	<p>海外支援体制：広東省生産力促進センター</p> <p>国内支援体制：兵庫県、財団法人太平洋人材交流センター（PREX）</p>
<b>II. 応募団体の概要</b>	
1. 団体名（提案自治体）	財団法人太平洋人材交流センター（PREX）（兵庫県）
2. 対象国との関係、協力実績	兵庫県は本件実施機関であるPREXに基金を拠出しており、PREXは平成12年と平成13年にJICA中国中小企業振興コースの実施機関として今回の相手国協力対象機関である広東省生産力促進センター関係者を日本へ受入れた実績がある。